

[HP掲載内容]

平成21年度第1回宮崎県社会教育委員会議 議事録

1 開催日時：平成21年7月27日（月）13時30分から15時30分まで

2 会 場：県庁会議室（621号室）

3 出席者：委員15名（2名欠席）



【委嘱状交付の様子】

4 概 要

(1) 議長・副議長の選出

議長 竹林国興 氏 副議長 松本睦子 氏 を選出する。

○ 議長あいさつ

- ・ 2年間県社会教育委員として参加させていただいた経験をもとに、本県社会教育の推進のために、みなさんと一緒に取り組んでいきたい。



(2) 説明1「社会教育委員及び社会教育委員会議について」（事務局より）

（資料に基づいて説明）

- ・ 社会教育委員とは ・ 社会教育委員の仕事とは ・ 社会教育委員会議とは
- ・ 皆さん方のこれまでの経験を生かして発言をお願いしたい。

(3) 説明2「社会教育を取り巻く現状と課題について」（事務局より）

（資料に基づいて説明）

- ・ 社会の大きな変化の中で様々な問題が起こっている。その中で、教育基本法の改正や中央教育審議会答申等が出されている。
- ・ このような社会情勢の中で、社会全体の教育力の向上を図っていかねばならない。
- ・ 本県においては、「新みやざき創造計画」に基づき取り組んでいる。特に、戦略1「郷土の宝『宮崎人』づくり」戦略を掲げている。
- ・ 県教育委員会としては、「のびよ！宮崎の子どもたち」～教育県「みやざき」の創造～として、戦略1「学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりの推進」を掲げ、取り組んでいる。

注) 以下、○は委員の発言

(4) 協議「会議のテーマ及び運営等について」

事務局 ・ 本日は、意見を交換した上で本会議のテーマを決めていただきたい。

議長 ・ 社会教育委員としての提言をするための2年間の活動テーマについて話したい。本日はそれぞれの委員の思いを聞かせていただければいいのではないか。

- 過去の本会議の取組について説明してほしい。
- 社会教育委員の提言の仕方は、3つあると思う。
例えば、①教育委員会が諮問し、答申する ②教育長の思いを聞き、その点について意見を出す ③現在の社会教育の現状を見て、それぞれの意見をまとめ、教育委員会に提言する 今回は③であると考えていいか。
- 現在、地域での取組の中で、悩んでいることや、困っているということを中心に意見を出してもいいか。

議長

- ・ もちろんその思いを積極的に出してほしい。
- 待機児童の問題や医療の問題もあると思う。
- 課題は山積みである。ここ20年、同じような問題があるのではないか。まず、これまでの社会教育委員の提言の検証をすることが必要ではないか。
- 人としての愛、無関心化等が社会問題になっているのであれば、行動に移すことが最も大切ではないか。
- 過去に、子どもたちは公民館に宿泊したり、民泊したりして、学校へ登校させた時もあった。しかし、県等の補助金がなくなれば、次第にその取組もなくなっている。根強い取組をつくることが大切ではないか。
- 以前、地域子ども教室を実施しその事業に関わった経験があるが、その事業の終期がきて、ボランティアでも継続したいと意向を示したが、保険のこと等があり行政の理解を得ることができなく、継続できなかった。
- 個々の力では難しい、組織がしっかりしていることが大切ではないか。私の住む地域では、今年も公民館に子どもたちが登校する登館日を実施している。それには多くのボランティアが対応していただいている。また、学校からボランティア等の要請があればすぐに対応している。つまり、地域の体制がしっかりしていることが大切だと思う。
- 私は、合併後のまちをさびらせないために、7名のボランティアで町づくりを始めた。今では110名が参加していただいている。地域の課題を取り上げ、観光振興とホテル再生をテーマに実践している。
- 子どもの居場所づくりが課題であると思っている。また、地域の無関心化も感じている。もちろん積極的に取り組んでいただける方もいる。反面、保護者の無関心さを強く感じる。
- 携帯電話やインターネットの問題もあると思うが、その前に心の問題があると思う。そのためにも読書の推進が大切であると思っている。県全体で読書活動を推進してほしい。また、大人、子どもの生活リズムの問題もあると思う。
- 家庭の教育力の問題が大きいと思う。今まで婦人会として、子育て支援をしてきた。その中で、母親の教育力の問題を強く感じている。ありがとうという礼儀から教えていかなければならない大人側の問題がある。
- 保護者対応については、確かに共感する部分がある。社会教育委員として、実践ができるような具体的な提言をすることが必要である。昨年度までの取組として、社会教育委員自ら執筆し提言させていただいた。事務局からの今回提案された中の1つを基本として進めてもいいのではないか。

- 学校と地域との協働が少なく感じている。学校との連携が必要ではないか。また、地域には各団体があるが、その団体間の協働もあまりないと感じている。地域にある団体のネットワークづくりと学校長の意識の高揚等を提言したいと思う。
- 昨年、県外から移住してきた。その中で、気づくことは、公民館組織がかなりしっかりしていると感じている。また、初めての方と一回会話をすれば、本当に親切な方が多いと思う。しかし、一度話すまでの気働きが少ないと思っている。その点が残念だと感じている。素晴らしい方が多い地域で、公民館組織で生かしていけばいいのではと感じている。
- 地域の中に、企業の手を取り入れることはとても大切ではないかと思う。
- 子どもは親の縮図であると思う。しっかりとした環境づくりをしていきたい。

(まとめ)

- 副議長 ・ 過去においても様々な取組をしてきたが、なかなか社会が変わっていない現状があると思う。本日は、様々な問題を提議していただいた。これからの会議はテーマを絞っていかなければならない。事務局からの提案も参考に、今後協議していきたい。
- 議長 ・ 本日は熱心な意見交換ができた。大変参考になり、次に繋がるものだったと思う。次回もよろしくお願ひしたい。

閉会行事

課長あいさつ

- ・ 本日、貴重なご意見を多くいただいた。次回は、今回の意見を集約、整理して再度提案していきたい。

